

FLASH PROGRAMMER: FL - PR2

DOC- No.	CONTENTS AND COMPLEMENT	A1. A2.	A3.
1	FL - PR2とパソコン間の通信ボ - レ - トを9600BPS以外で使用するとファイルのダウンロードが正常に行われない場合がある。(エラー - メッセ - ジ等は表示されない)		-
2	モトロ - ラS形式のファイルをFL - PR2にダウンロードした場合、すべてのレコ - ドが読み込まれない場合がある。		-

- : No problem

: Bug (Corrected by version upgrade)

FLASH PROGRAMMER: FL - PR3

< Function Change/Modified >

DOC- No.	CONTENTS AND COMPLEMENT	A0.B2.C3 ,D4,E5	F6.G7.	H9.	J11. GUI:V3.04d F/W:V3.02	K12.-15. GUI:V3.06a F/W:3.05d	L16. GUI:V3.07c F/W:3.06b
1	モトロ - ラSフォーマットの32BITに対応	-	-	-	-		
2	単独での"Blank Check"コマンドの削除	-	-	-	-		
3	消去時間設定可能範囲の拡大(0 or 0.5-10.0sec -> 0 or 0.01-59.99sec)	-	-	-	-		
4	書き込み時間設定可能範囲の拡大(1-100usec -> 1-9999usec)	-	-	-	-		
5	コンパ - シェンス時間設定可能範囲の追加及び、パラメータファイルでの自動設定(10-7990msec -> 1-999msec)	-	-	-	-		
6	VPP電圧設定可能範囲の拡大(2.7-10.3V -> 2.7-12.0V)	-	-	-	-		
7	新規シグネチャに対応[SIG:7F10,F17F,E97F]	-	-	-	-		
8	EEPROM対応	-	-	-	-		
9	ダウンロード・ユーザ・プログラムのチェックサム表示機能追加	-	-	-	-	-	
10	単独イレース時のブランクチェックの追加	-	-	-	-	-	
11	BLOCKモード削除	-	-	-	-	-	
12	スタンドアローン時の誤書き込み防止追加	-	-	-	-	-	

- : Not Change/Modified

: Change/Modified by version upgrade

(FLASH PROGRAMMER)

FLASH PROGRAMMER: FL - PR3

< Bug list >

DOC- No.	CONTENTS AND COMPLEMENT	A0,B2,C3 ,D4,E5	F6,G7.	H9.	J11. GUI:V3.04d F/W:V3.02	K12.-15. GUI:V3.06a F/W:3.05d	L16. GUI:V3.07c F/W:3.06b
1	Target I / Fにおけるシリアル / Fの選択において、疑似3線式のシリアル通信が行えない。		-	-	-	-	-
2	78K0Sシリーズにおいて、Target I/FのUARTが使用できない		-	-	-	-	-
3	動作温度制限(常温のみ使用可)		-	-	-	-	-
4	マスターROMが使用できない		-	-	-	-	-
5	ホスト・インタフェースにおけるRS-232Cの通信ポートは、9,600bps-38,400bpsまでが使用可能		-	-	-	-	-
6	コントロール・ソフトにインストールが、添付されていない		-	-	-	-	-
7	コントロール・ソフトにおけるユーザープログラムのロードにおいて、EPRAMフォーマットのHEXファイルが使用できない		-	-	-	-	-
8	フラッシュメモリとのインタフェースは、SIOのチャンネル0でしか使用できない		-	-	-	-	-
9	マスターROMで2Mbit品が使用できない		-	-	-	-	-
10	uPD78F4046のECCデータの書き込み未対応		-	-	-	-	-
11	uPD70F3017でブロックモードによる書き込みができない		-	-	-	-	-
12	消去時間0sとしてもE.P.V.中の消去をスキップしない		-	-	-	-	-
13	コントロール・ソフトにおけるcancelコマンドは使用できない		-	-	-	-	-
14	ターゲットデバイスと異なるパラメータファイルを読み込んだ後、正しいパラメータファイルが有効にならず、エラーとなる場合がある。		-	-	-	-	-
15	コントロール・ソフトにおけるHELPファイルは、暫定版です。ダイアログ上でのHELPは使用できない。		-	-	-	-	-
16	パフォーマンスの低いコンピュータを使用時に、コントロール・ソフトの動作に不具合を生じる事がある(Pentium200MHz以上推奨)		-	-	-	-	-
17	消去時間の設定を10秒以上に設定すると消去処理が1分以上かかる		-	-	-	-	-
18	Windows98には、対応していない		-	-	-	-	-
19	128KバイトのマスターROMで、データのリード動作モードにおいてPGM端子(31ピン)= VIHとする仕様のROMを使用するとデータの読み込みが正常に行えません。(この場合エラーを発生しません)		-	-	-	-	-
20	コントロール・ソフトにおけるEDIT機能は使用できない		-	-	-	-	-
21	コントロール・ソフトにおけるDump HEX機能(ユーザープログラムのアップロード)は、通信ポートが19,200bps以上では使用できない		-	-	-	-	-
22	コントロール・ソフト再起動時のポート設定において57,600bpsが設定できない		-	-	-	-	-
23	シグネチャ2/3バイト目=E9/7Fおよび61/7Fの消去フローにおいて「ライトバック消去」のトライ回数が16回を超えた場合、エラーとならずハングアップする		-	-	-	-	-
24	前回と異なるパラメータファイルをダウンロードした場合、前回のパラメータデータが一部残っているため、有効パラメータを誤選択し、ターゲットインシャライズエラーが発生する可能性がある		-	-	-	-	-
25	コマンド実行中に本体の"ENTER"キーを押すと、ハングアップしてしまう復帰のためには、電源の再投入が必要。		-	-	-	-	-

- : No problem : Bug (Corrected by version upgrade) x : Bug (Not corrected by version upgrade)

56	仕様 変更	< スタンド・アローン・モードのREADコマンド削除 > スタンド・アローン・モードのREAD コマンドを削除しました。	-	-	-	-	-	-	-	×	×
57	仕様 変更	< スタンド・アローン・モードのOption Setting のLCD 表示の変更 > Option Setting の内容をスタンド・アローン・モードでも全てLCD に表示するようにしま	×	×	×	×	×	×	×	×	×
58	仕様 追加	< Progarea サイズ表示追加 > 通信ログ・ウィンドウにProgarea が表示された時に現在使用可能な内部メモリ領域の サイズを表示するように変更しました。	×	×	×	×	×	×	×	×	×
59	仕様 追加	< 単線UART通信 (78K0S/KX1+) 対応 > 単線UART 通信の持つデバイス(78K0S/Kx1+)に対応しました。 プログラム・アダプタ(FAシリーズ)上もしくはターゲット・システム上でターゲットI/F信 号	×	×	×	×	×	×	×	×	×

FLASH PROGRAMMER: FL - PR4 Notice

Group	注意事項 Notice
1	<p>注意事 < ターゲット・マイコンのクロック供給 > ターゲットマイコンの動作クロック (CLK) 供給は、FL - PR4からではなく、ターゲット ボード上から供給してください。 FL - PR4からターゲット・ケーブルを使用してターゲット・マイコンの動作クロックを供 給すると、通信不具合が起こる可能性があります。FAアダプタ・ボード(別売)を使用 する場合にも、FAアダプタ・ボード上にクロック生成回路を設けて下さい。 ただし、FA - CON9(別売)またはFA - CON16(別売)使用時には、FL - PR4から ターゲット・マイコンの動作クロックを供給可能です。</p>
2	<p>注意事 < SIO-H/S通信モード時の注意事項1 > 下記デバイスにおいて、SIO-H/S通信モードを使用する場合、2MHzより高いCPUク ロックでご使用ください。 該当デバイス: 78F0034BY、78F0703Y、78F0988A、78F9478、78F9488、 78F4218A、78F0354 2MHz以下でSIO-H/S通信モードを使用すると、単独Verifyコマンドでタイムアウト・エ ラーが発生する場合があります。</p>
3	<p>注意事 < SIO-H/S通信モード時の注意事項2 > 78F0078において、SIO-H/S通信モードを使用する場合、下記の条件でご使用くださ い。 ・ 2MHzより高いCPUクロックでご使用ください。 ・ H/S端子をプルアップしてください。(推奨プルアップ抵抗値:4.7K)</p>

4	注意事	< SIO通信モード時の注意事項 > 78F9468において、動作クロックをライターから供給する場合、下記の条件でご使用ください。 ・ SCK信号をC-MOSバッファ等で波形整形してください。
5	注意事	< ターゲット・ケーブル接続時の注意事項 > ターゲットのGNDとライターのGNDに電位差があるシステムの場合、ライター及び、ターゲットにダメージを与える可能性があります。ターゲット・ケーブルを接続する前にGNDの電位をあわせてください。